

ひだか  
日高自動車道  
(一般国道235号)  
あつがしずない  
厚賀静内道路

再評価原案準備書説明資料

平成17年度

北海道開発局

## 目 次

1 . 事業の概要 .....	1
( 1 ) 目的 .....	1
( 2 ) 計画の概要 .....	3
( 3 ) 経緯 .....	4
2 . 事業の必要性等 .....	5
事業の効果や必要性を評価するための指標 .....	5
( 1 ) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 .....	6
( 2 ) 事業の投資効果 .....	20
( 3 ) 事業の進捗状況 .....	22
3 . 事業の進捗の見込み .....	23
4 . コスト縮減や代替案立案等の可能性 .....	24
5 . 関係する地方公共団体等の意見 .....	25

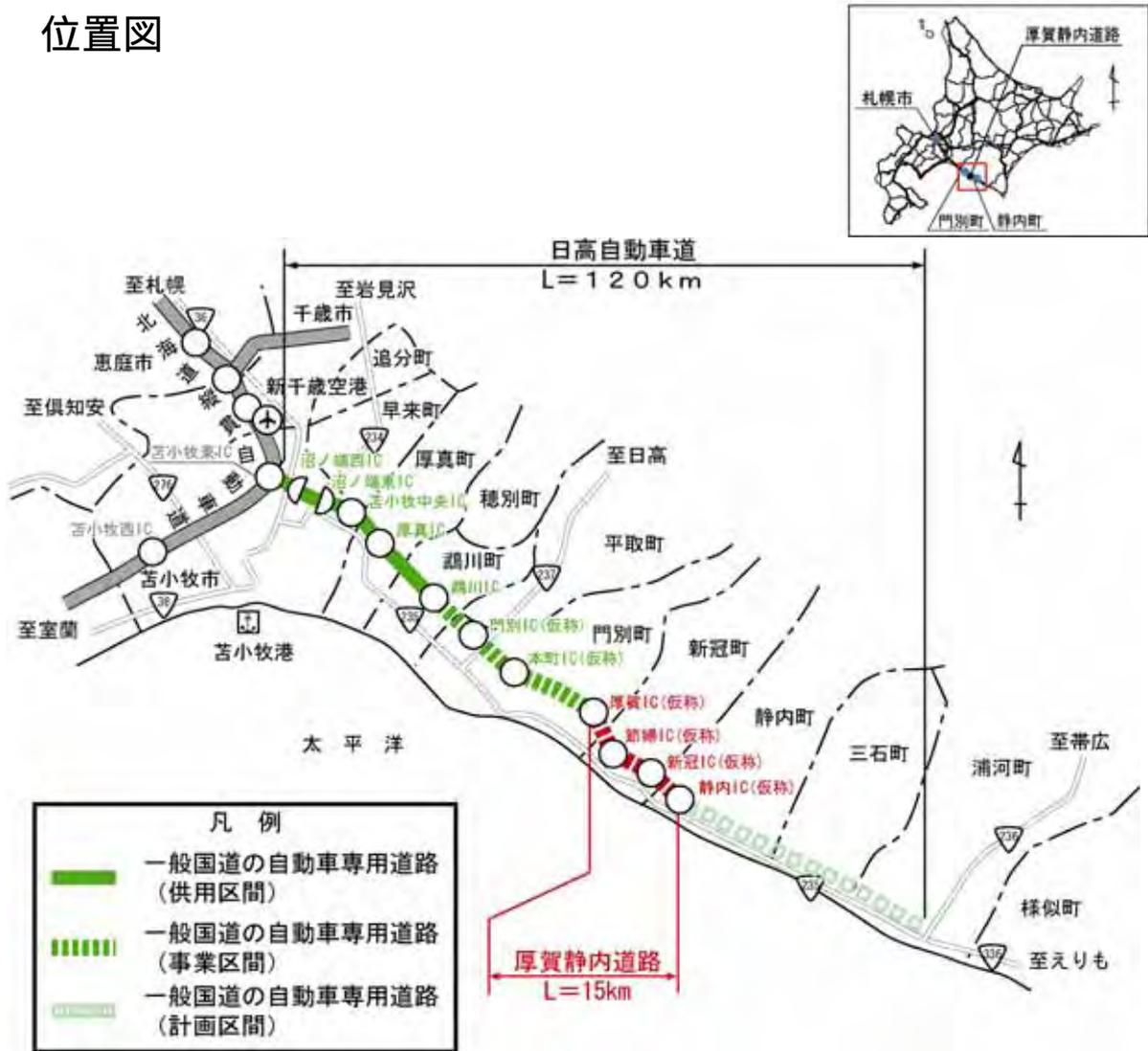
## 1 . 事業の概要

### ( 1 ) 目的

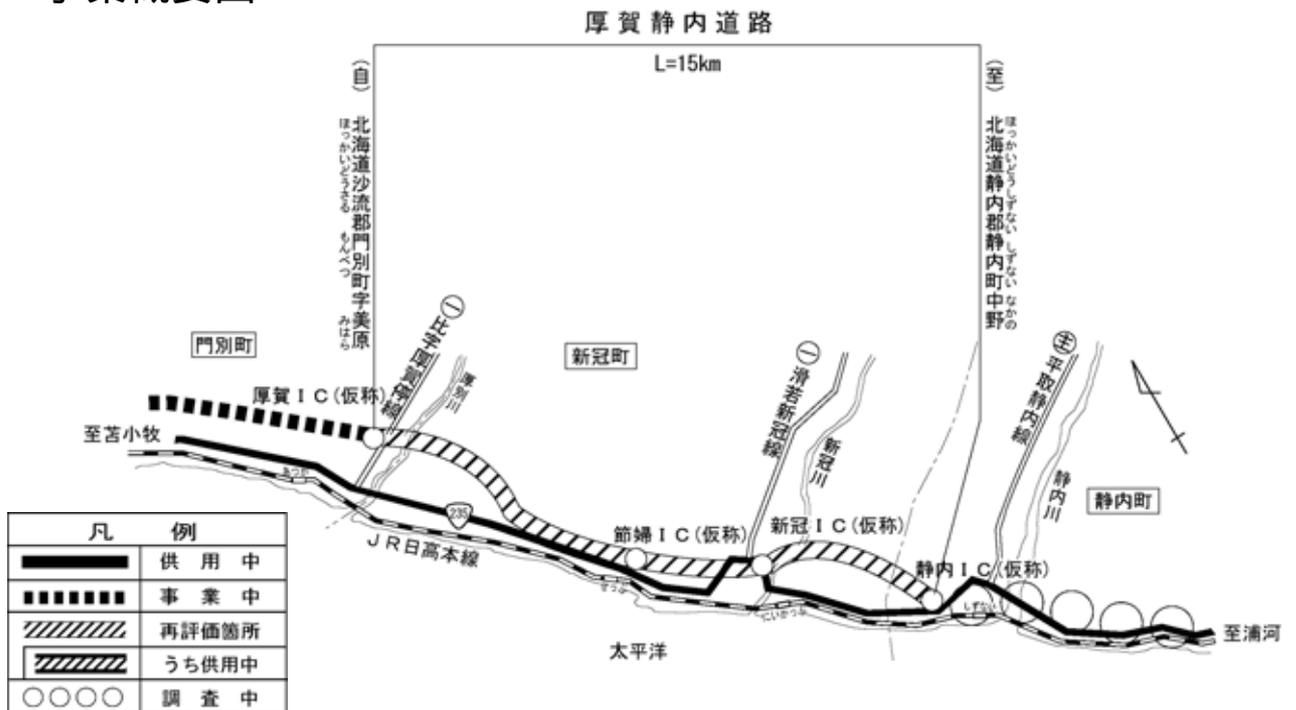
日高自動車道は、北海道縦貫自動車道苫小牧東インターチェンジから分岐し、浦河町に至る延長約 1 2 0 kmの一般国道の自動車専用道路であり、北海道縦貫自動車道と一体となり道央圏と日高地域を結ぶ高速交通ネットワークを形成します。

このうち、厚賀静内道路は、日高自動車道の一部を形成する厚賀インターチェンジから静内インターチェンジに至る延長 1 5 kmの区間で、高速交通ネットワークの拡充による苫小牧港、新千歳空港への物流の効率化や災害時の代替路確保等を目的としています。

# 位置図



# 事業概要図



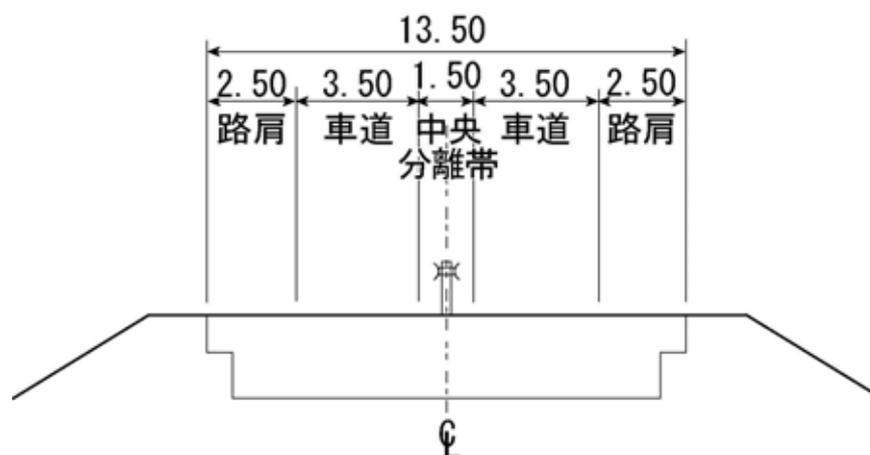
## ( 2 ) 計画の概要

- 起点 . . . 北海道沙流郡門別町字美原  
終点 . . . 北海道静内郡静内町中野  
計画延長 . . .  $L = 15 \text{ km}$   
幅員 . . .  $W = 13.5 \text{ m}$   
構造規格 . . . 1種3級  
設計速度 . . .  $80 \text{ km/h}$   
車線 . . . 2車線  
事業主体 . . . 北海道開発局

### 標準横断面図

#### 2車線

( 単位 : m )



( 3 ) 経緯

平成 7 年度	事業化
	環境調査着手
平成 1 2 年度	事業再評価実施
平成 1 4 年度	道づくり検討委員会の実施 ( P I 委員会 )

## 2 . 事業の必要性等

### 事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標	資料ページ
1 . 活力	円滑なモビリティの確保	並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	10
		並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	11
		新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	12
		特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	13
	都市の再生	農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	7
		都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		三大都市圏の環状道路を形成する	
	国土・地域ネットワークの構築	市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	6
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	6
	個性ある地域の形成	日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	9
拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		14	
IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する		16	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2 . 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	8
3 . 安全	安全な生活環境の確保	並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五カ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	17
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	18
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	
4 . 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	19
	生活環境の改善・保全	並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	
		並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	
		並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5 . その他	他のプロジェクトとの関係	他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

注意： は定量的に評価を行う指標  
は効果のある指標

## (1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

### 客観的評価指標

「当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する」

### 客観的評価指標

「当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する」

厚賀静内道路は、日高自動車道の一部を形成し、北海道縦貫自動車道との連結により、静内地方生活圏の拠点都市である静内町と道央圏・苫小牧地方生活圏の拠点都市である札幌市・苫小牧市を連絡します。これにより、拠点都市間を結ぶ高速ネットワークを形成します。また、日常活動圏中心都市である苫小牧市と静内町を最短時間で連絡することが可能となります。



### 【中心都市データ】

人口:(H12国勢調査) 医療施設数:(H13.10)  
公共施設数:(H14.3) 社会福祉施設数:(H13.10)  
学校数:(H14.5) 大規模小売店数:(H17.4)

資料:「北海道市町村勢要覧」北海道(H15)  
「全国大型小売店総覧」東洋経済新報社(H17)

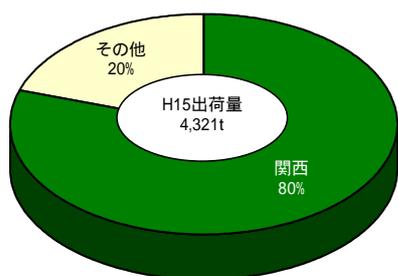
## 客観的評価指標

「農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる」

当該事業が位置する日高地方は、高級食材である日高こんぶの産地、また、全国有数の馬産地となっています。平成15年におけるこんぶの漁獲金額は約45億円、軽種馬の生産総額も約45億円にのぼります。全国的に人気の高い日高こんぶは出荷量の約8割が関西方面へ出荷され、また、軽種馬は全国各地へ運ばれています。

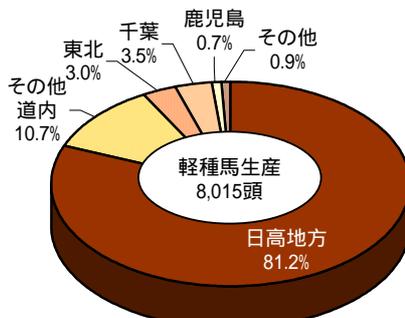
日高自動車道の整備により、農産品や軽種馬輸送の迅速性や安定性が確保され、流通の利便性向上が期待されます。

日高こんぶの出荷先割合 (H15)



資料：室蘭開発建設部調べ  
北海道水産現勢

軽種馬生産頭数の割合 (H16)



資料：日高軽種馬農業協同組合



供用済み区間を通行する馬輸送車



## 客観的評価指標

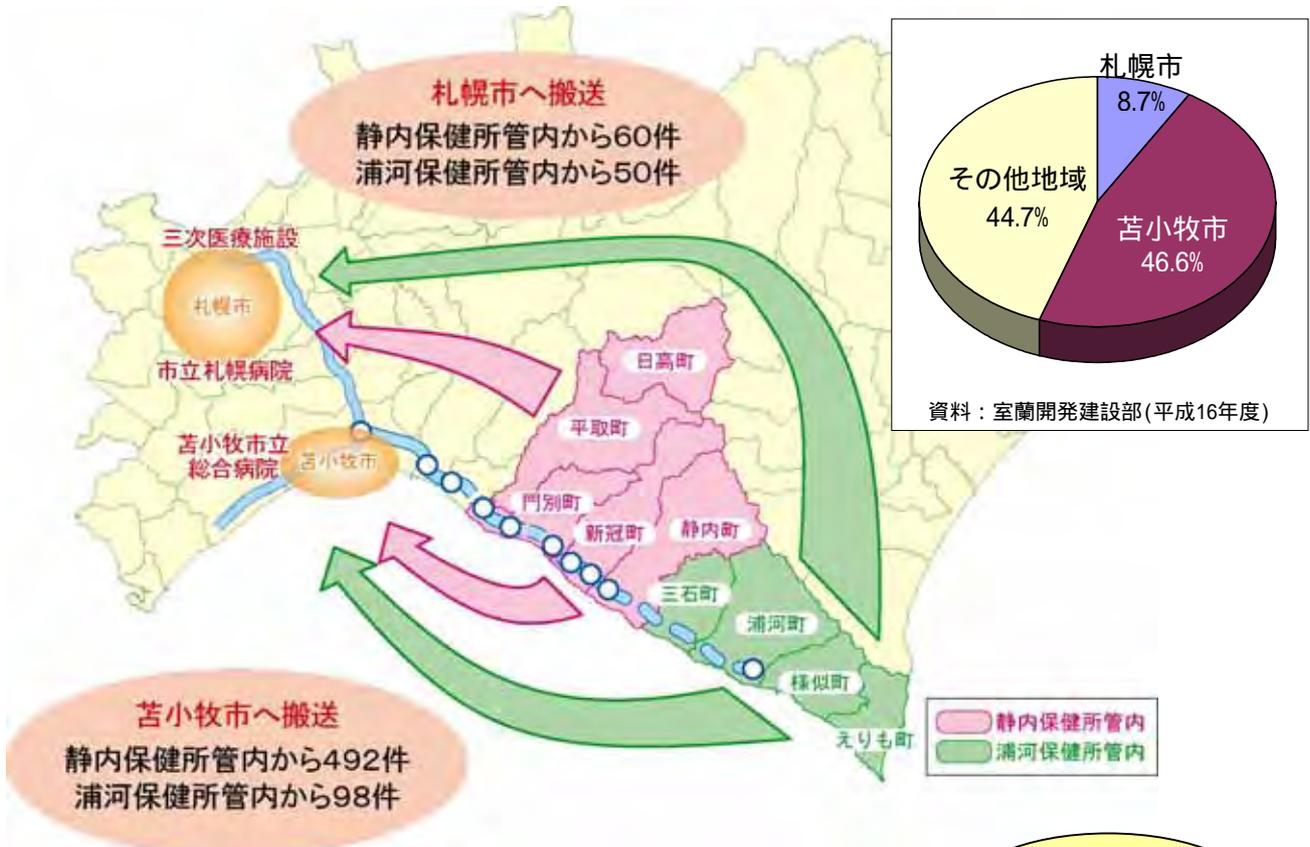
「三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる」

当該路線沿線地域における三次救急医療は、札幌市や苫小牧市へ依存しています。医療機関までの距離が遠い地域ほど死亡率が高いことから、搬送時間の短縮や安全性の確保が課題となっています。

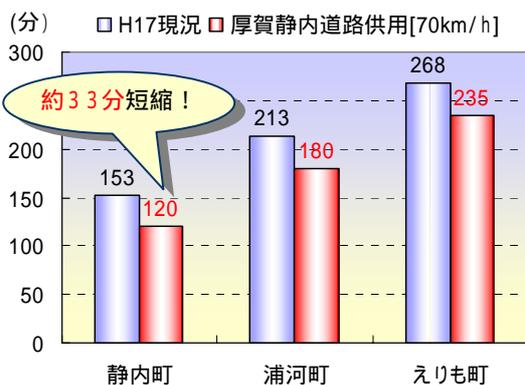
当該路線の整備によって、高度医療機関へのアクセス向上が図られます。

日高自動車道沿線地域の町外搬送件数

日高自動車道地域からの町外搬送の割合

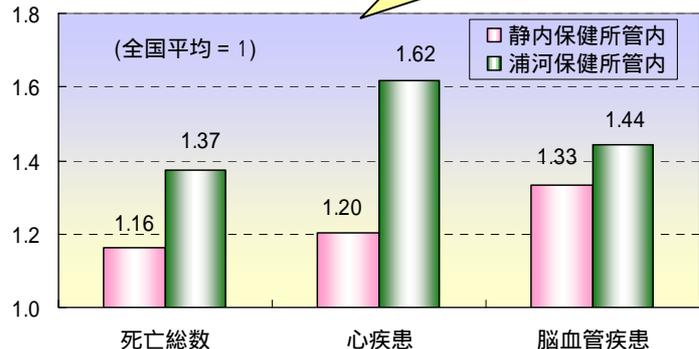


日高自動車道沿線地域から札幌市（市立病院）への時間変化



資料：H11道路交通センサス  
 [鶴川IC～静内IC(仮称)は70km/hを想定]

死亡率の全国比較



資料：北海道保健福祉部「北海道地域保健情報年報」(各年)  
 注) 全国平均 = 1 の場合の値 数値はH12～H14の平均値

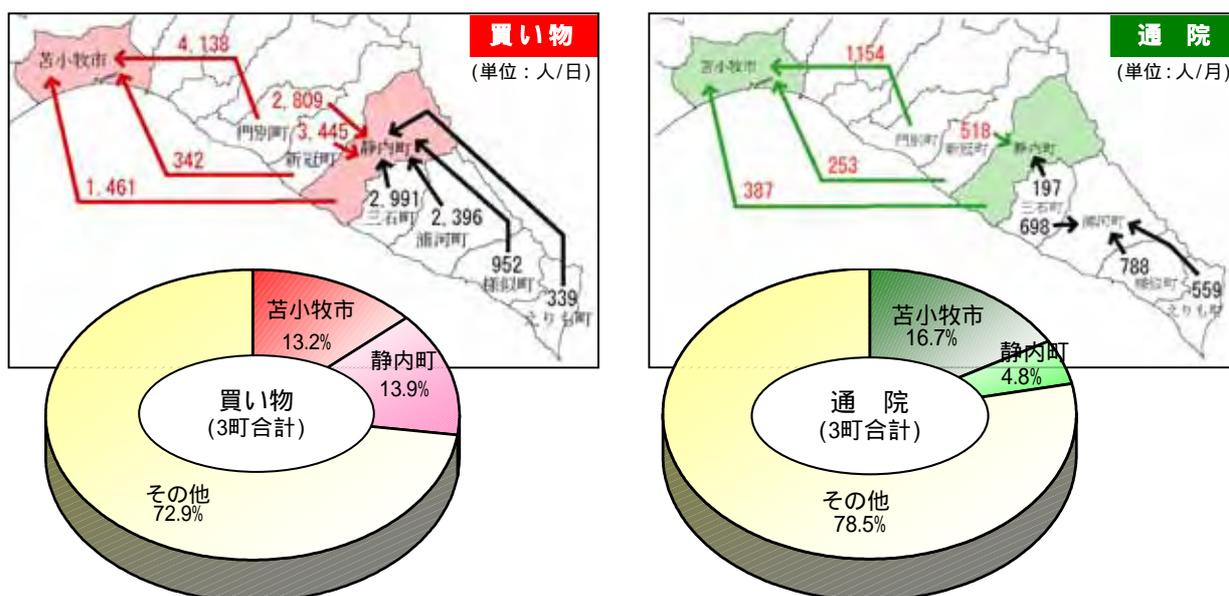
## 客観的評価指標

「日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる」

当該事業地域である門別町・新冠町・静内町の3町は買い物や通院等の日常活動を苫小牧市や静内町に依存しています。

当該事業の整備により、日高自動車道沿線地域から日常活動圏中心都市である苫小牧市や静内町へのアクセス向上が見込まれます。

日常活動圏中心都市への依存状況

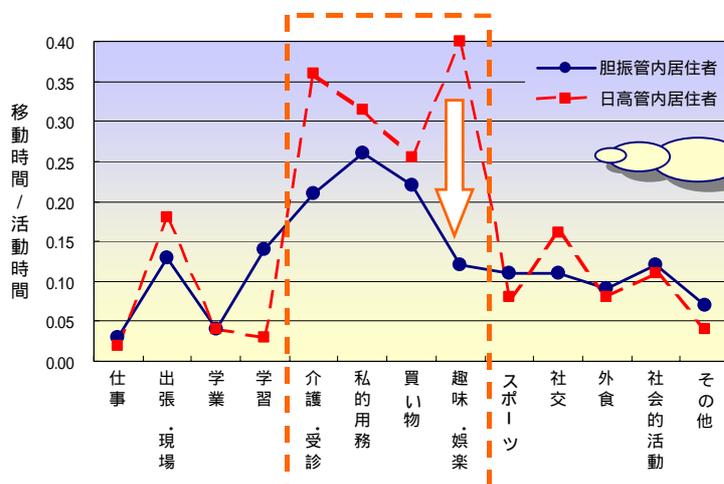


「静内町」は、門別町・新冠町2町から静内町への動きのみ

「静内町」は、門別町・新冠町2町から静内町への動きのみ

資料：北海道広域商圏動向調査報告書(H3)、平成12年5月診療分国民健康保険患者受療動向調査結果

活動時間に占める移動時間の割合(目的別)



日高管内居住者は、商業・娯楽・医療などの生活活動において、胆振管内居住者に比べ移動時間の制約を大きく受けており、当該事業により軽減されることが期待されます。

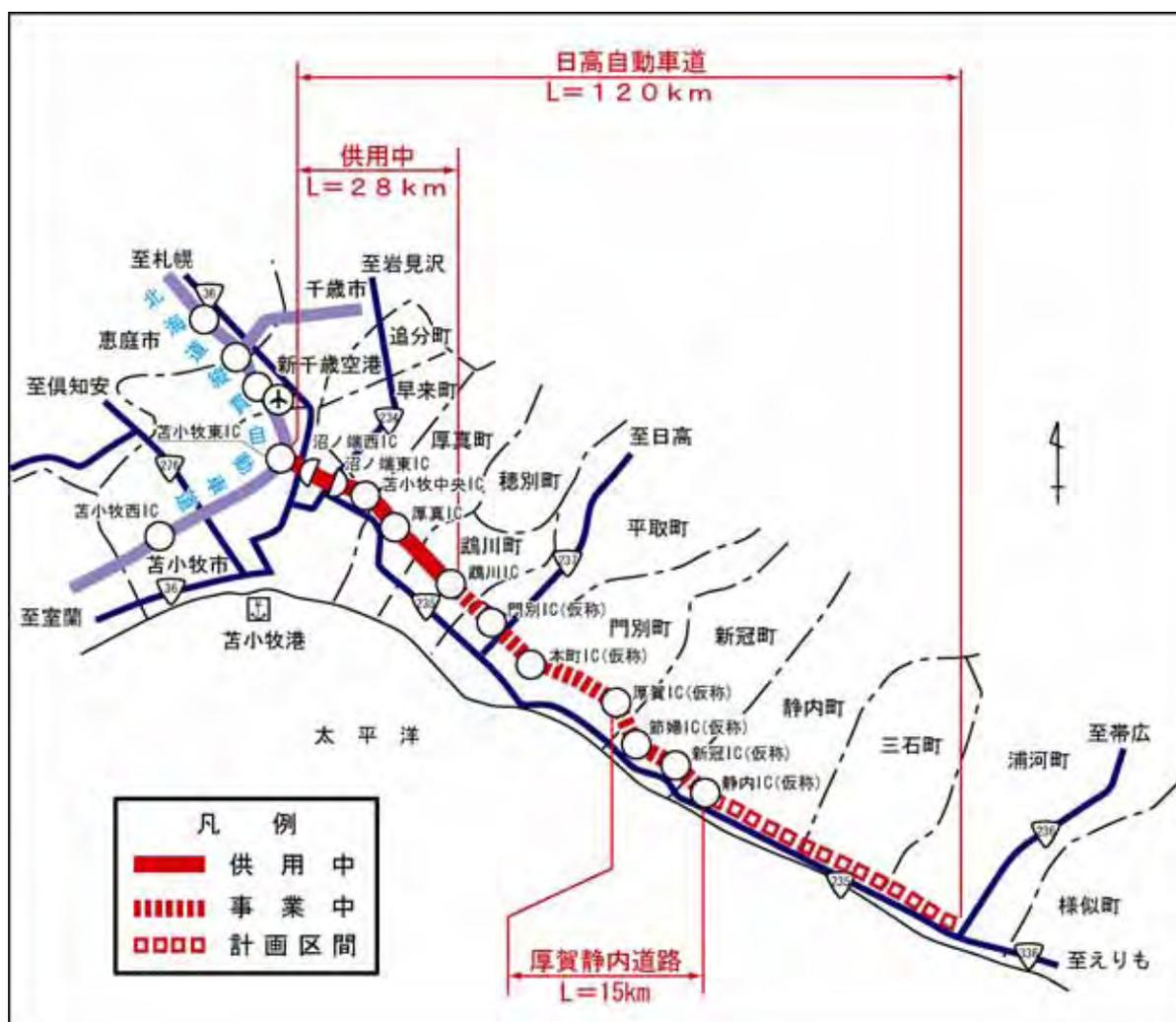
資料：室蘭開発建設部

## 客観的評価指標

### 「並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率」

当該路線と並行する国道235号は静内町から苫小牧方面への通勤、通院、買物等の日常生活交通に加え、物流などの広域的な交通が発生しています。

日高自動車道の部分供用により交通の転換が図られており、平成16年度における当該路線と並行する国道235号の年間の渋滞損失時間は、223千人・時間/年となっていますが、当該路線の整備により、削減されることが期待されます。



## 客観的評価指標

「並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる」

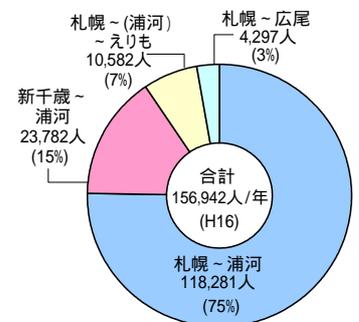
現在、当該路線の並行区間と日高自動車道の既供用区間を運行ルートとして、札幌市及び新千歳空港と、浦河町、えりも町、広尾町間を結ぶ都市間バスが一日11往復運行しており、年間約16万人が利用しています。

当該路線の整備によって沿線の高速交通体系の強化及び定時性の確保に寄与し、バス利用客の利便性向上が期待されます。

### 都市間バスの運行状況



【並行区間を運行する都市間バスの利用者数(H16)】

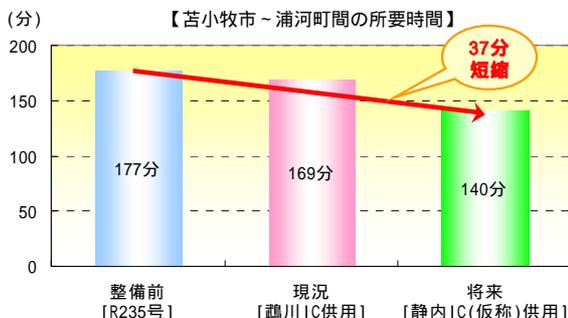


資料：バス会社ヒアリング

【札幌市～広尾町間の移動時間比較】



乗換の待ち時間含まず  
資料：バス会社ヒアリング



資料：H11道路交通センサス  
[鶴川IC～静内IC(仮称)間は70km/hを想定]

- ・ 供用区間については既に利用しています。
- ・ 広尾～札幌を結ぶバスは帯広経由よりも移動時間21分短縮、なおかつ往復で6,000円も安い運賃を実現。
- ・ 供用区間が延長されることにより、都市間バスは日高自動車道を利用します。
- ・ 高速道路利用による時間短縮により、利用客のニーズが高い“札幌出発時間を遅らせる”ことが可能。札幌での滞在時間が増えます（現在の札幌出発時間は16：40です）。

資料：バス会社ヒアリング

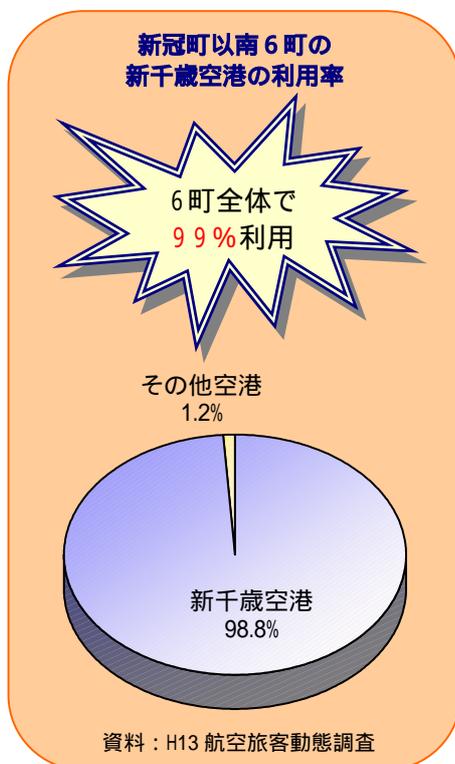
## 客観的評価指標

「第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる」

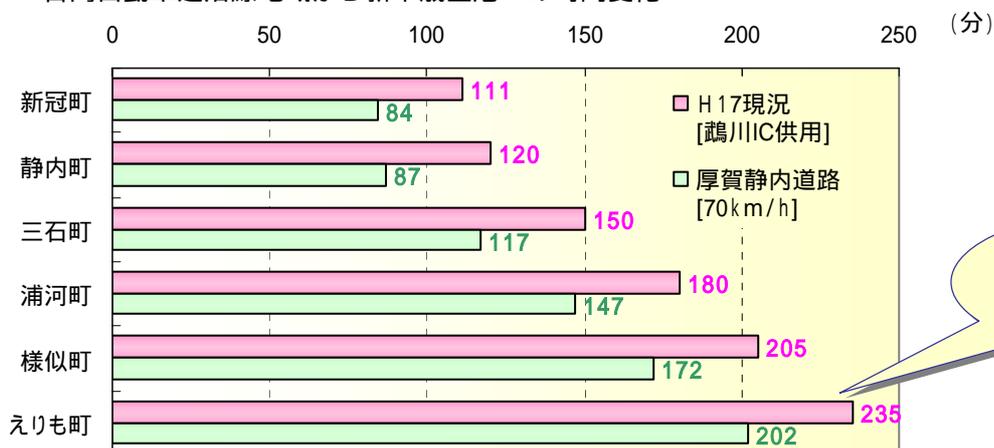
新千歳空港は、国内線41路線、国際線7路線（H16.9現在）利用者数約1,800万人を有する北海道最大の空港となっており、新冠町以南6町からは年間約8万人が利用しています。

日高自動車道の整備により広域交通ネットワークが形成され、日高自動車道沿線地域からのアクセス向上が見込まれます。

日高自動車道沿線地域から新千歳空港へのアクセス



日高自動車道沿線地域から新千歳空港への時間変化



**本事業整備で  
約33分短縮!**

資料：H11道路交通センサス  
[鶴川IC～静内IC(仮称)は70km/hを想定]

## 客観的評価指標

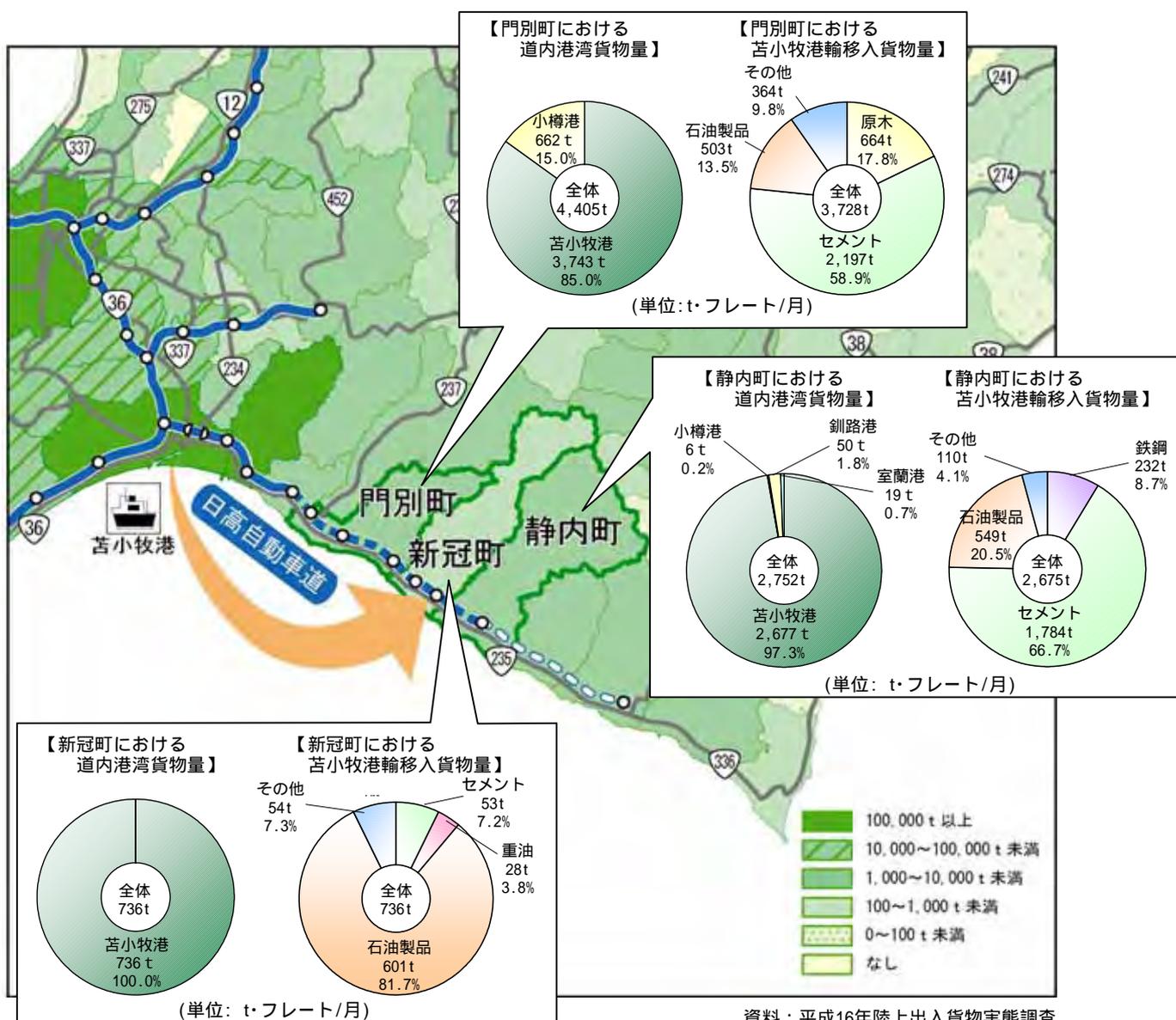
「特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる」

特定重要港湾苫小牧港の取扱量は、道内の約30%のシェアがあり、北海道の港湾物流の拠点となっています。

当該事業地域である門別町・新冠町・静内町では、1ヶ月で約7千トンの貨物が苫小牧港を利用しています。

日高自動車道の整備により、当該事業地域から苫小牧港までのアクセス向上が見込まれます。

月間貨物量別苫小牧港後背圏（H16.10.1～H16.10.31）



## 客観的評価指標

「拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する」

当該路線沿線の日高地域では、第6期北海道総合開発計画にもとづく地域整備の展開構想「森と海と優駿の里づくりプロジェクト」のもと安心して活力ある地域づくりを展開しています。

当該事業は、沿線の自治体を有機的に連結することにより、沿線自治体の地域プロジェクトを支援し、地域の活性化に寄与します。

地域プロジェクト位置図

鶴川・沙流川ペア・ライン構想



乗馬体験施設整備事業



馬とのふれあいやスポーツを通して交流の輪を広げる「優駿の里」づくりを目指し、宿泊交流施設、乗馬施設、緑地公園、パークゴルフ場等の整備を行い、平成10年に「うらかわ優駿ピレジアエル」がオープンしました。

アエルでは、多様な乗馬メニューを用意し、初級者から上級者まで乗馬を楽しむことができる日本一の乗馬リゾートとしてオープン以来多くの観光客が訪れています。平成12年には温泉掘削に成功し、大浴場を天然温泉に切り替え、施設内容の充実が図られています。

アポイの樹風呼ぶまちづくり



整備前



整備後

百人浜リゾートパーク整備事業



三石海浜公園整備事業



西泊津ヒルズ・スパ・パーク整備事業



西泊津ヒルズ・スパ・パーク整備事業は、定住促進対策に取り組み、既存温泉宿泊施設を効果的に活かした開発促進を図っています。現在、平成14年にパークゴルフ場がオープンし好評を得ているほか、約6.9haの豊かな自然環境や観光レクリエーション施設が隣接している好条件を活かした宅地造成が検討されています。

## 地域プロジェクトの概要

プロジェクト名	計画概要
乗馬体験施設整備事業	<p>【目的及び期待される効果等】                      これまで培われてきた浦河町自前のサラブレッド文化を土壌に、これからの浦河独自の文化を生み出す実験の場として捉え、町民はもとより国民的ニーズを的確にとらえた体験への期待に応じる「里」づくりを目指す。                      「馬」という歴史的にも経済的にも貴重な資源を有し、日本有数の軽種馬生産地として全国から注目を集めるなか、競走馬としてだけでなく、乗馬、牧場への観光客の増加に向け、当町の観光目的である「サラブレッド観光と乗馬のまち」づくりの推進が図られる。</p> <p>【事業主体】 北海道・浦河町 【事業規模等】 7,000.00ha（対象面積）                      【事業期間等】 平成3年度～平成21年度</p>
アポイの樹風呼ぶまちづくり	<p>【目的及び期待される効果等】                      現在、当町の西町地区から栄町地区にかけて国道の拡幅事業が進められているが、この道路整備とあわせて、地域の個性を活かした質の高い生活空間づくりを図るため、町民のシンボルであり、また「アポイ岳高山植物群落」として国の特別天然記念物に指定されているアポイ岳をイメージした本事業を推進し、地域と一体となった市街の再整備を図り、ゆとりと潤いのあるまちづくりを進めることを目的としている。                      本事業によって、市街の再整備と商店街の近代化が図られ、現在近隣町に流出している消費活動に歯止めを掛け、商店街の活性化、産業の振興が期待される。</p> <p>【事業主体】 様似町 【事業規模等】 17.00ha（対象面積）                      【事業期間等】 平成7年度～平成18年度</p>
鶴川・沙流川ペア・ライン構想	<p>【目的】                      鶴川・沙流川の2本の川の流れ（ペア・ライン）に沿って、流域の環境保全と有効活用を図るとともに、地域が個性的なまちづくりを進め、相互連携による多様性に富んだ表情豊かな流域圏の形成を目指す。</p> <p>【事業主体】 鶴川沙流川ペアライン振興協議会 【事業期間】 平成9年度～</p>
西泊津ヒルズ・スパ・パーク整備事業	<p>【目的】                      温泉宿泊施設を中心とした136ヘクタールの広大な敷地を有する西泊津の高台にパークゴルフ場、コテージ等の施設を整備し、町民の余暇充足及び交流人口の増加を図る。</p> <p>【事業主体】 新冠町 【事業期間等】 平成12年度～</p>
三石海浜公園整備事業	<p>【目的】                      恵まれた自然環境の中で海を中心とした海浜公園をつくり、人と海が新しい形で触れ合える場として施設整備を行うとともに、観光をリーディング産業とし、一次、二次、三次産業が一体となって、新たな雇用の場をつくりだすことにより、町全体の活性化を図る。</p> <p>【事業主体】 三石町 【事業期間等】 平成5年度～</p>
百人浜リゾートパーク整備事業	<p>【目的】                      えりもの荒々しい大自然にふれあいながらの長期滞在保養と、さらに、21世紀の国民の余暇利用ニーズに対応した多様な体験観光ができる滞在拠点の形成を図る。</p> <p>【事業主体】 えりも町 【事業期間等】 昭和63年度～平成17年度</p>

資料：地域プロジェクト総覧（平成17年3月）より

## 客観的評価指標

「IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する」

当該事業沿線の門別町、新冠町、静内町では年間約94万人の観光入込みがあり、期間中約18万人が訪れる静内町の二十間道路桜並木をはじめ、軽種馬産地などの地域資源を活かした観光施設が多数存在します。

当該事業により、ICから新冠町、静内町の主要観光地へのアクセスが向上し、道央圏と有機的に連結することから、地域の活性化に寄与します。



## 客観的評価指標

「対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヵ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり」

当該区間に並行する一般国道235号は、緊急輸送道路ネットワーク計画において「一次緊急輸送道路」に位置づけられています。

日高自動車道の整備により、ネットワークが多重化し、防災対策や危機管理の充実に寄与します。

一次緊急輸送道路とは、県庁所在地、地方中心都市、重要港湾、空港、総合病院、自衛隊、警察、消防等を連絡する重要な道路です。

緊急輸送道路及び防災拠点



資料：北海道緊急輸送道路ネットワーク計画書（平成13年3月）

## 客観的評価指標

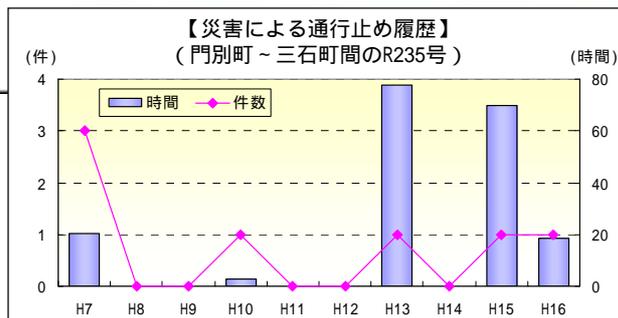
「緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する」

本路線と並行する国道235号は、胆振地域と日高地域を結ぶ唯一の幹線道路にもかかわらず、集中豪雨や地震などにより、斜面崩壊等の災害が発生しています。

過去には、平成15年には台風10号による大雨の影響で、国道、道道が通行止めになり、日常生活の機能さえもストップするなど社会経済活動、住民生活に大きな影響を及ぼしました。

日高自動車道整備により、国道235号が通行止めになった場合の代替路線が形成されます。

台風10号（平成15年）時の通行止め区間と迂回路



資料：室蘭開発建設部

静内町～苫小牧市間の迂回時間



資料：H11道路交通センサス

平成15年8月10日台風10号によりR235が通行止めとなる



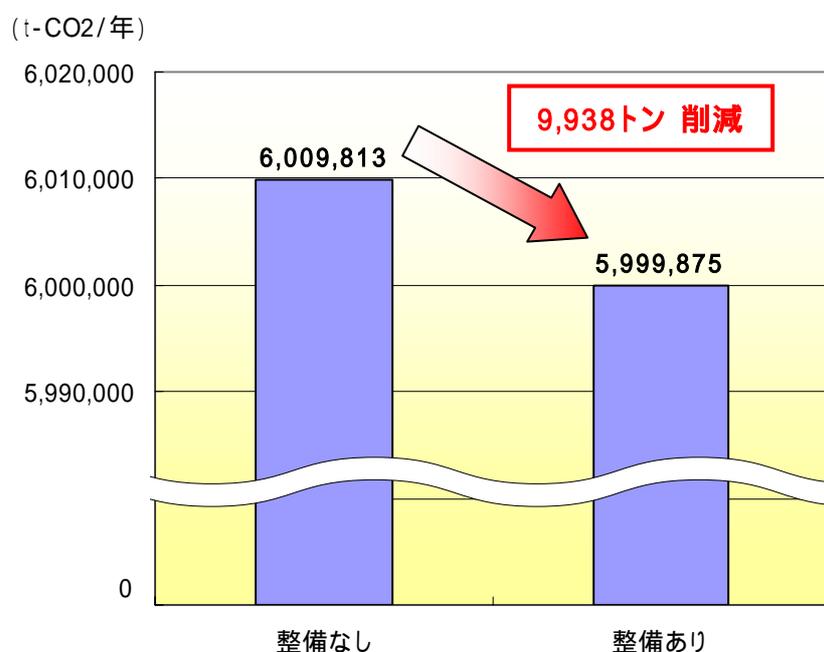
資料：室蘭開発建設部

## 客観的評価指標

「対象道路の整備により削減される自動車からのCO<sub>2</sub>排出量」

平成15年度における国内の二酸化炭素総排出量は、12億5,900万(t-CO<sub>2</sub>/年)、一人あたりの排出量は9.87(t-CO<sub>2</sub>/年)となっています。

当該事業の整備により、整備されない場合に比べ9,938(t-CO<sub>2</sub>/年)の削減が見込まれます。これを一人あたりの年間排出量に換算した場合、約1,000人分の排出量に相当します。



## ( 2 ) 事業の投資効果

### 費用便益分析の結果 ( 事業全体 )

#### 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成17年		
単純合計	482億円	97億円	579億円
基準年における 現在価値 ( C )	376億円	34億円	410億円

#### 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成17年			
単年便益 ( 初年度便益 )	112億円	8億円	3億円	123億円
基準年における 現在価値 ( B )	1,547億円	106億円	38億円	1,690億円

#### 結果

費用便益分析 ( B / C )	4 . 1
------------------	-------

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

#### 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 ( B / C )
交通量	11,700 ~ 14,000 台/日	±10%	3.7 ~ 4.5
事業費	482 億円	±10%	3.8 ~ 4.5
事業期間	7 年	±20%	4.0 ~ 4.3

## 費用便益分析の結果（残事業）

### 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成17年		
単純合計	482億円	97億円	579億円
基準年における 現在価値（C）	376億円	34億円	410億円

### 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成17年			
単年便益 （初年度便益）	112億円	8億円	3億円	123億円
基準年における 現在価値（B）	1,547億円	106億円	38億円	1,690億円

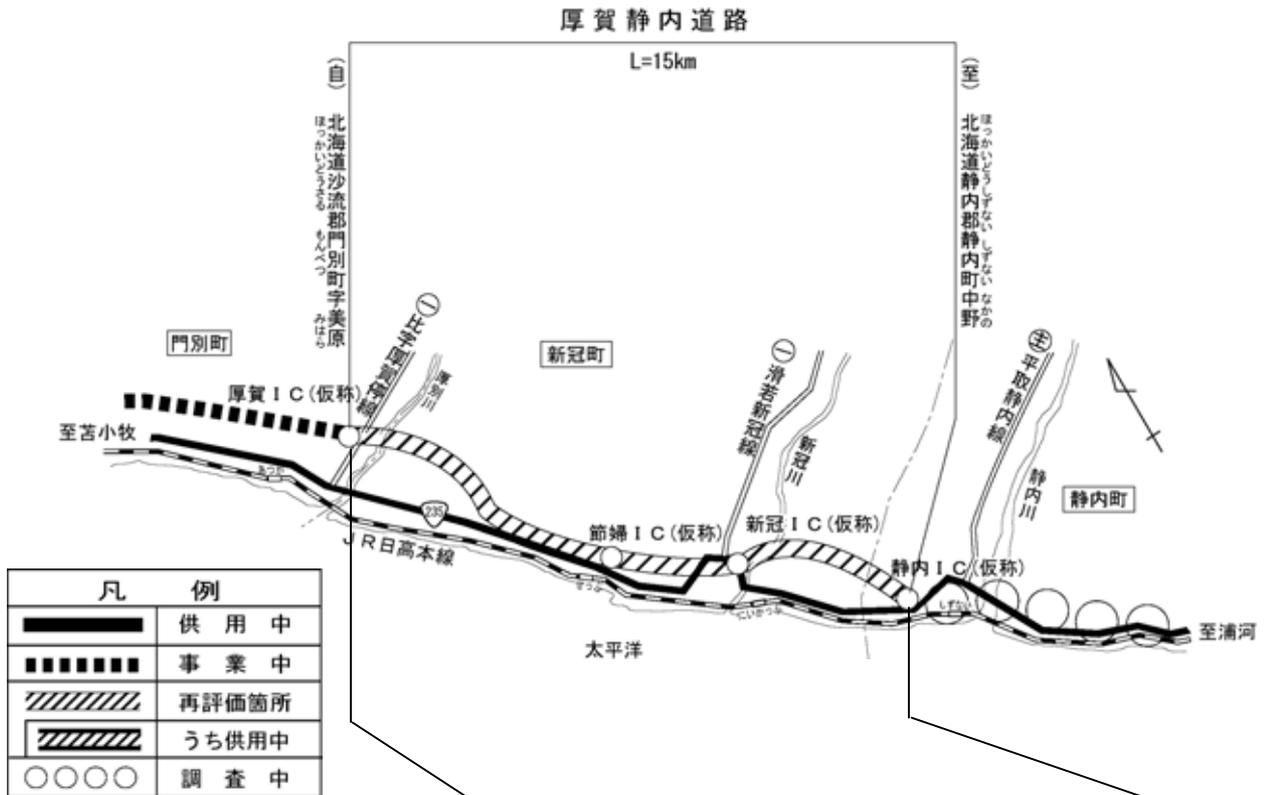
### 結果

費用便益分析（B / C）	4.1
---------------	-----

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### (3) 事業の進捗状況

日高自動車道厚賀静内道路は、平成17年度末で、用地進捗率0%、事業進捗率2%です。



設計	13%
測量・地質調査	0%
用地進捗率	0%
事業進捗率	2%

平成17年度末

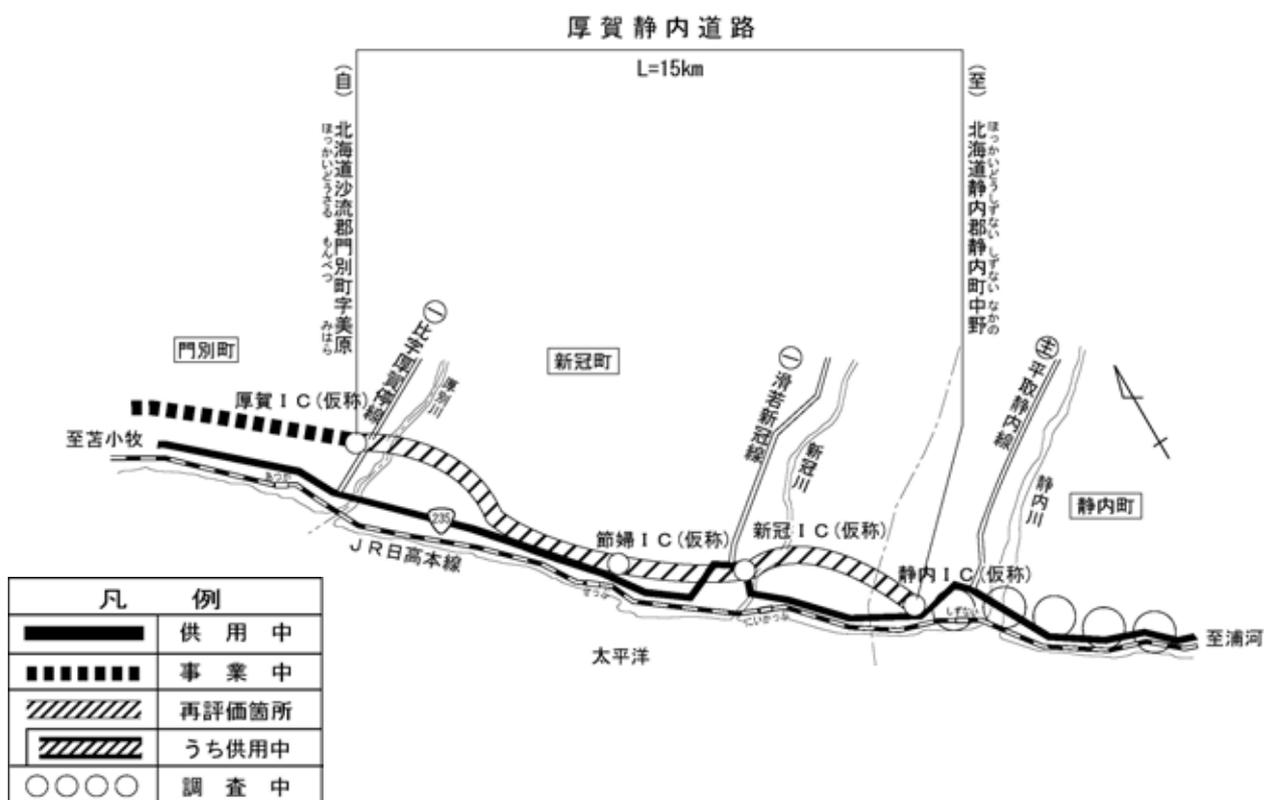
用地進捗率は用地補償費投入ベース  
事業進捗率は事業費投入ベース

凡例：数字は進捗率

### 3. 事業の進捗の見込み

厚賀静内道路は、平成7年度に事業化し、概略設計、環境調査に必要な設計協議及び調査、地域住民との合意形成を円滑に進めるためのP Iの実施等を進めてきているところです。

今後の見込みについては、引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代後半の完成を予定しています。



## 4 . コスト縮減や代替案立案等の可能性

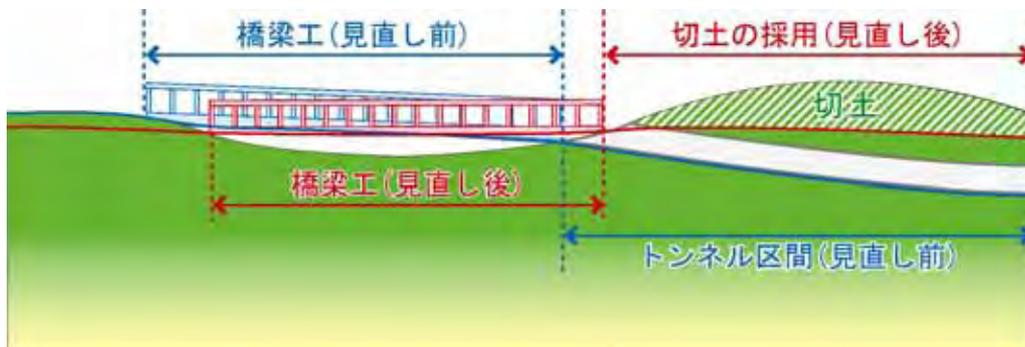
本事業においては、以下のコスト縮減対策に取り組んでいます。

### 取り組み施策

施策名	内容
設計手法の見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路の平面・縦断線形の見直しによる構造物規模及び土工量の縮減</li><li>・I C形状見直しによる構造物規模及び土工量の縮減</li></ul>

また、これまでの取り組みを継続実施することに加え、公共事業の全てのプロセスをコストの観点から見直す「国土交通省公共事業コスト構造改革プログラム」に取り組むこととしています。

### 具体例



## 5 . 関係する地方公共団体等の意見

地元自治体で構成する期成会が、事業促進の要望を行っています。

期成会名称	会 長	主な構成メンバー	備考
北海道苫小牧地方総合開発期成会	苫小牧市長 櫻井 忠	苫小牧市、白老町、早来町、追分町、厚真町、鵜川町、穂別町の首長及び議会議長	要望内容： 「広域的分散型社会を形成する本道において、道民生活の向上、社会経済の発展にあたり欠くことのできない社会資本として、道路整備が必要である」 平成17年度要望有
日高総合開発期成会	平取町長 中道 善光	日高町、平取町、門別町、新冠町、静内町、三石町、浦河町、様似町、えりも町の首長及び議会議長	要望内容： 「災害時の代替路確保、物流の効率化や観光拠点へのアクセス強化、救急搬送時間の短縮等を図るため整備促進を要望する」 平成17年度要望有
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会	浦河町長 谷川 弘一郎	苫小牧市、厚真町、鵜川町、穂別町、日高町、平取町、門別町、新冠町、静内町、三石町、浦河町、様似町、白老町、早来町、追分町、えりも町の首長	要望内容： 「平成15年の台風10号の災害により地域全体が麻痺した。災害に強い交通ネットワークの形成や産業・観光の発展に欠かせない当該道路の整備促進を要望する」 平成17年度要望有

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道235号 日高自動車道 厚賀静内道路
事業主体	北海道開発局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	費用便益比 ( B / C ) = 4 . 1

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 ( 対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更 )	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	並行区間等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b ( 当該区間 / 平行区間 ) について : ( 国道235号現道 : 門別町字美原 ~ 静内町中野 ) 並行区間等 ( 当該区間 ) の渋滞損失時間 : 2 2 3 千人・時間 / 年 ( H 1 6 値 ) 削減
		並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる。	利便性向上が見込まれるバス路線 : 浦河町 ~ 札幌市・新千歳空港 1 1 往復 / 日 約 1 6 万人 / 年利用
		新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	対象空港 : 新千歳空港、対象自治名 : 門別町、新冠町、静内町、三石町、浦河町、様似町、えりも町 改善見込み ( 静内町 ~ 新千歳空港、1 2 0 分 8 7 分 )
	物流効率化の支援	特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾 : 特定重要湾苫小牧港、対象自治体 : 門別町、新冠町、静内町、三石町、浦河町、様似町、えりも町
		農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	農林水産業を主体とする地域名 : 静内町、浦河町、様似町 主な出荷先等 : 門別町、新冠町、静内町その他4町の日高こんぶ出荷先 ( 関西 8 0 %、その他 2 0 % ) : 国内における軽種馬生産割合 ( 日高地方 8 1 %、その他 1 9 % )
	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		三大都市圏の環状道路を形成する	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
国土・地域ネットワークの構築	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	高規格道路日高自動車道を構成するルートである	
	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	対象となる日常活動圏中心都市 : 苫小牧市、静内町 苫小牧市 ~ 静内町間 1 0 9 分 8 1 分	
	日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名 : 門別町、新冠町、静内町 日常活動圏中心都市 : 苫小牧市 対象自治体3町の苫小牧市への依存 : 買い物 1 3 . 2 %、通院 1 6 . 7 %	

	個性ある地域の形成	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	新冠町「西泊津ヒルズ・スパ・パーク整備事業」、浦河町「乗馬体験施設整備事業」
		ＩＣ等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	静内町「二十間道路桜祭り」約１８万人 新冠町「新冠温泉レ・コードの湯」約２２万人／年
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
２．暮らし	安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設名称：市立札幌病院 アクセス向上が見込まれる自治体名：門別町、新冠町、静内町その他日高管内６町 静内町～札幌市１５３分 １２０分
３．安全	安全な生活環境の確保 災害への備え	並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	計画名：北海道緊急輸送道路ネットワーク計画、位置づけ：第１次緊急輸送道路
		緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：国道２３５号 代替する区間（門別町～三石町）
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	
４．環境	地球環境の保全 生活環境の改善・保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：9,938t/年
		並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	
		並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	
		並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のアジェンダとの関係	他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
日高自動車道 (一般国道235号)	厚賀静内道路	L = 15.0 km	高規格 B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,700 ~ 14,000	2	北海道開発局

## 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成17年度		
単純合計	482億円	97億円	579億円
うち残事業分	482億円	97億円	579億円
基準年における 現在価値 (C)	376億円	34億円	410億円
うち残事業分	376億円	34億円	410億円

## 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成17年度			
供用年	平成27年度			
単年便益 (初年便益)	112億円	8億円	3億円	123億円
基準年における 現在価値 (B)	1,547億円	106億円	38億円	1,690億円
うち残事業分	1,547億円	106億円	38億円	1,690億円

## 結 果

費用便益比 (事業全体)	4.1
費用便益比 (残事業)	4.1

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B / C)
交通量	11,700 ~ 14,000	± 10%	3.7 ~ 4.5
事業費	482億円	± 10%	3.8 ~ 4.5
事業期間	7年	± 20%	4.0 ~ 4.3

## 交通状況の変化

事業名：厚賀静内道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 15.0km	交通量	[台/日]	0	13,100	
	走行時間	[分]	0	13	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	49.83	
②主な周辺道路	現道(国道235号): 15.3km	交通量	[台/日]	12,500	1,300
		走行時間	[分]	31	17
		走行時間費用	[億円/年]	114.91	6.68
	一)新冠平取線: 16.9km	交通量	[台/日]	1,200	400
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	8.05	2.81
	主)平取静内線: 35.1km	交通量	[台/日]	800	500
		走行時間	[分]	44	43
		走行時間費用	[億円/年]	10.25	6.49
③その他道路合計 : 22306.7km	走行時間費用	[億円/年]	44958.24	44913.84	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計：22389.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	45091.45	44979.65	111.80

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：厚賀静内道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



## 交通状況の変化

事業名：厚賀静内道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 15.0km	交通量	[台/日]	0	13,100	
	走行時間	[分]	0	13	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	49.83	
②主な周辺道路	現道(国道235号): 15.3km	交通量	[台/日]	12,500	1,300
		走行時間	[分]	31	17
		走行時間費用	[億円/年]	114.91	6.68
	一) 新冠 平取線: 16.9km	交通量	[台/日]	1,200	400
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	8.05	2.81
	主) 平取 静内線: 35.1km	交通量	[台/日]	800	500
		走行時間	[分]	44	43
		走行時間費用	[億円/年]	10.25	6.49
③その他道路合計 : 22306.7km	走行時間費用	[億円/年]	44958.24	44913.84	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計：22389.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	45091.45	44979.65	111.80

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：厚賀静内道路（残事業）

（推計時点 H42年）

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



## 費用便益分析の条件

事業名：厚賀静内道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	
	その他	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成17年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	(H42)
	複数時点での推計	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
	整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H11センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
	その他( )	
開発交通量の考慮	無	
	有	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	
	転換率式を用いた配分	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
	簡易手法	
	簡易手法の場合	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	
	最終配分の速度 採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。	
	その他( )	



## 費用の現在価値算定表(事業全体)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:日高自動車道(一般国道235号) 厚賀静内道路

採用単価の根拠 実績値		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.17	15	2.55

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 7年目	H 20	0.8890	18.80	16.71	0.00	0.00
- 6年目	H 21	0.8548	53.30	45.56	0.00	0.00
- 5年目	H 22	0.8219	114.90	94.44	0.00	0.00
- 4年目	H 23	0.7903	98.00	77.45	0.00	0.00
- 3年目	H 24	0.7599	102.10	77.59	0.00	0.00
- 2年目	H 25	0.7307	50.70	37.05	0.00	0.00
- 1年目	H 26	0.7026	43.90	30.84	0.00	0.00
供用開始年次	H 27	0.6756	0.00	0.00	2.43	1.64
1年目	H 28	0.6496	0.00	0.00	2.43	1.58
2年目	H 29	0.6246	0.00	0.00	2.43	1.52
3年目	H 30	0.6006	0.00	0.00	2.43	1.46
4年目	H 31	0.5775	0.00	0.00	2.43	1.40
5年目	H 32	0.5553	0.00	0.00	2.43	1.35
6年目	H 33	0.5339	0.00	0.00	2.43	1.30
7年目	H 34	0.5134	0.00	0.00	2.43	1.25
8年目	H 35	0.4936	0.00	0.00	2.43	1.20
9年目	H 36	0.4746	0.00	0.00	2.43	1.15
10年目	H 37	0.4564	0.00	0.00	2.43	1.11
11年目	H 38	0.4388	0.00	0.00	2.43	1.07
12年目	H 39	0.4220	0.00	0.00	2.43	1.03
13年目	H 40	0.4057	0.00	0.00	2.43	0.99
14年目	H 41	0.3901	0.00	0.00	2.43	0.95
15年目	H 42	0.3751	0.00	0.00	2.43	0.91
16年目	H 43	0.3607	0.00	0.00	2.43	0.88
17年目	H 44	0.3468	0.00	0.00	2.43	0.84
18年目	H 45	0.3335	0.00	0.00	2.43	0.81
19年目	H 46	0.3207	0.00	0.00	2.43	0.78
20年目	H 47	0.3083	0.00	0.00	2.43	0.75
21年目	H 48	0.2965	0.00	0.00	2.43	0.72
22年目	H 49	0.2851	0.00	0.00	2.43	0.69
23年目	H 50	0.2741	0.00	0.00	2.43	0.67
24年目	H 51	0.2636	0.00	0.00	2.43	0.64
25年目	H 52	0.2534	0.00	0.00	2.43	0.62
26年目	H 53	0.2437	0.00	0.00	2.43	0.59
27年目	H 54	0.2343	0.00	0.00	2.43	0.57
28年目	H 55	0.2253	0.00	0.00	2.43	0.55
29年目	H 56	0.2166	0.00	0.00	2.43	0.53
30年目	H 57	0.2083	0.00	0.00	2.43	0.51
31年目	H 58	0.2003	0.00	0.00	2.43	0.49
32年目	H 59	0.1926	0.00	0.00	2.43	0.47
33年目	H 60	0.1852	0.00	0.00	2.43	0.45
34年目	H 61	0.1780	0.00	0.00	2.43	0.43
35年目	H 62	0.1712	0.00	0.00	2.43	0.42
36年目	H 63	0.1646	0.00	0.00	2.43	0.40
37年目	H 64	0.1583	0.00	0.00	2.43	0.38
38年目	H 65	0.1522	0.00	0.00	2.43	0.37
39年目	H 66	0.1463	0.00	-3.37	2.43	0.36
合計			481.70	376.27	97.20	33.79
単純事業費計			481.70		97.20	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:日高自動車道(一般国道235号)厚賀静内道路

採用単価の根拠 実績値		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.17	15	2.55

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 7年目	H 20	0.8890	18.80	16.71	0.00	0.00
- 6年目	H 21	0.8548	53.30	45.56	0.00	0.00
- 5年目	H 22	0.8219	114.90	94.44	0.00	0.00
- 4年目	H 23	0.7903	98.00	77.45	0.00	0.00
- 3年目	H 24	0.7599	102.10	77.59	0.00	0.00
- 2年目	H 25	0.7307	50.70	37.05	0.00	0.00
- 1年目	H 26	0.7026	43.90	30.84	0.00	0.00
供用開始年次	H 27	0.6756	0.00	0.00	2.43	1.64
1年目	H 28	0.6496	0.00	0.00	2.43	1.58
2年目	H 29	0.6246	0.00	0.00	2.43	1.52
3年目	H 30	0.6006	0.00	0.00	2.43	1.46
4年目	H 31	0.5775	0.00	0.00	2.43	1.40
5年目	H 32	0.5553	0.00	0.00	2.43	1.35
6年目	H 33	0.5339	0.00	0.00	2.43	1.30
7年目	H 34	0.5134	0.00	0.00	2.43	1.25
8年目	H 35	0.4936	0.00	0.00	2.43	1.20
9年目	H 36	0.4746	0.00	0.00	2.43	1.15
10年目	H 37	0.4564	0.00	0.00	2.43	1.11
11年目	H 38	0.4388	0.00	0.00	2.43	1.07
12年目	H 39	0.4220	0.00	0.00	2.43	1.03
13年目	H 40	0.4057	0.00	0.00	2.43	0.99
14年目	H 41	0.3901	0.00	0.00	2.43	0.95
15年目	H 42	0.3751	0.00	0.00	2.43	0.91
16年目	H 43	0.3607	0.00	0.00	2.43	0.88
17年目	H 44	0.3468	0.00	0.00	2.43	0.84
18年目	H 45	0.3335	0.00	0.00	2.43	0.81
19年目	H 46	0.3207	0.00	0.00	2.43	0.78
20年目	H 47	0.3083	0.00	0.00	2.43	0.75
21年目	H 48	0.2965	0.00	0.00	2.43	0.72
22年目	H 49	0.2851	0.00	0.00	2.43	0.69
23年目	H 50	0.2741	0.00	0.00	2.43	0.67
24年目	H 51	0.2636	0.00	0.00	2.43	0.64
25年目	H 52	0.2534	0.00	0.00	2.43	0.62
26年目	H 53	0.2437	0.00	0.00	2.43	0.59
27年目	H 54	0.2343	0.00	0.00	2.43	0.57
28年目	H 55	0.2253	0.00	0.00	2.43	0.55
29年目	H 56	0.2166	0.00	0.00	2.43	0.53
30年目	H 57	0.2083	0.00	0.00	2.43	0.51
31年目	H 58	0.2003	0.00	0.00	2.43	0.49
32年目	H 59	0.1926	0.00	0.00	2.43	0.47
33年目	H 60	0.1852	0.00	0.00	2.43	0.45
34年目	H 61	0.1780	0.00	0.00	2.43	0.43
35年目	H 62	0.1712	0.00	0.00	2.43	0.42
36年目	H 63	0.1646	0.00	0.00	2.43	0.40
37年目	H 64	0.1583	0.00	0.00	2.43	0.38
38年目	H 65	0.1522	0.00	0.00	2.43	0.37
39年目	H 66	0.1463	0.00	-3.37	2.43	0.36
合計			481.70	376.27	97.20	33.79
単純事業費計			481.70		97.20	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:日高自動車道(一般国道235号)厚賀静内道路

年次	年度 (基準年) H17	総走行台数の年次別伸び率 (プロット)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%	
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H 27	1.00693	0.99733	1.00455	0.6756	73.54	0.00	9.77	28.95	112.26	75.84	3.37	0.00	1.22	3.23	7.82	5.28	2.71	1.83	122.79	82.96
1年目	H 28	1.00689	0.99732	1.00453	0.6496	74.05	0.00	9.75	28.87	112.67	73.19	3.39	0.00	1.22	3.22	7.83	5.09	2.72	1.77	123.22	80.04
2年目	H 29	1.00684	0.99731	1.00451	0.6246	74.55	0.00	9.72	28.79	113.07	70.62	3.41	0.00	1.22	3.21	7.84	4.90	2.73	1.71	123.64	77.23
3年目	H 30	1.00679	0.99731	1.00449	0.6006	75.06	0.00	9.70	28.71	113.47	68.15	3.44	0.00	1.21	3.20	7.86	4.72	2.74	1.65	124.07	74.52
4年目	H 31	1.00675	0.99730	1.00447	0.5775	75.57	0.00	9.67	28.64	113.87	65.76	3.46	0.00	1.21	3.20	7.87	4.54	2.76	1.59	124.50	71.90
5年目	H 32	1.00670	0.99729	1.00445	0.5553	76.07	0.00	9.64	28.56	114.28	63.46	3.48	0.00	1.21	3.19	7.88	4.37	2.77	1.54	124.92	69.37
6年目	H 33	0.99969	0.99414	0.99837	0.5339	76.05	0.00	9.59	28.39	114.03	60.88	3.48	0.00	1.20	3.17	7.85	4.19	2.76	1.48	124.64	66.55
7年目	H 34	0.99969	0.99410	0.99837	0.5134	76.03	0.00	9.53	28.22	113.78	58.42	3.48	0.00	1.19	3.15	7.82	4.02	2.76	1.42	124.36	63.85
8年目	H 35	0.99969	0.99407	0.99837	0.4936	76.00	0.00	9.47	28.06	113.53	56.04	3.48	0.00	1.19	3.13	7.80	3.85	2.76	1.36	124.09	61.25
9年目	H 36	0.99969	0.99403	0.99837	0.4746	75.98	0.00	9.42	27.89	113.29	53.77	3.48	0.00	1.18	3.11	7.77	3.69	2.75	1.31	123.81	58.76
10年目	H 37	0.99969	0.99400	0.99836	0.4564	75.96	0.00	9.36	27.72	113.04	51.59	3.48	0.00	1.17	3.09	7.74	3.53	2.75	1.25	123.53	56.38
11年目	H 38	0.99969	0.99396	0.99836	0.4388	75.93	0.00	9.30	27.56	112.79	49.49	3.48	0.00	1.17	3.07	7.72	3.39	2.74	1.20	123.25	54.08
12年目	H 39	0.99969	0.99392	0.99836	0.4220	75.91	0.00	9.25	27.39	112.54	47.49	3.47	0.00	1.16	3.06	7.69	3.25	2.74	1.16	122.97	51.89
13年目	H 40	0.99969	0.99389	0.99835	0.4057	75.88	0.00	9.19	27.22	112.30	45.56	3.47	0.00	1.15	3.04	7.66	3.11	2.73	1.11	122.69	49.78
14年目	H 41	0.99969	0.99385	0.99835	0.3901	75.86	0.00	9.13	27.05	112.05	43.71	3.47	0.00	1.14	3.02	7.64	2.98	2.73	1.06	122.41	47.75
15年目	H 42	0.99969	0.99381	0.99835	0.3751	75.84	0.00	9.08	26.89	111.80	41.94	3.47	0.00	1.14	3.00	7.61	2.85	2.72	1.02	122.13	45.81
16年目	H 43	0.99801	0.99542	0.99743	0.3607	75.69	0.00	9.04	26.76	111.49	40.21	3.46	0.00	1.13	2.99	7.58	2.74	2.72	0.98	121.79	43.93
17年目	H 44	0.99801	0.99540	0.99742	0.3468	75.54	0.00	8.99	26.64	111.17	38.55	3.46	0.00	1.13	2.97	7.56	2.62	2.71	0.94	121.44	42.11
18年目	H 45	0.99801	0.99538	0.99741	0.3335	75.39	0.00	8.95	26.52	110.86	36.97	3.45	0.00	1.12	2.96	7.53	2.51	2.70	0.90	121.09	40.38
19年目	H 46	0.99800	0.99536	0.99741	0.3207	75.24	0.00	8.91	26.39	110.54	35.45	3.44	0.00	1.12	2.95	7.51	2.41	2.70	0.86	120.74	38.72
20年目	H 47	0.99800	0.99534	0.99740	0.3083	75.08	0.00	8.87	26.27	110.22	33.98	3.44	0.00	1.11	2.93	7.48	2.31	2.69	0.83	120.39	37.12
21年目	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2965	74.93	0.00	8.83	26.15	109.91	32.59	3.43	0.00	1.11	2.92	7.45	2.21	2.68	0.80	120.05	35.59
22年目	H 49	0.99799	0.99529	0.99738	0.2851	74.78	0.00	8.79	26.02	109.59	31.25	3.42	0.00	1.10	2.90	7.43	2.12	2.67	0.76	119.70	34.13
23年目	H 50	0.99799	0.99527	0.99738	0.2741	74.63	0.00	8.75	25.90	109.28	29.95	3.42	0.00	1.10	2.89	7.40	2.03	2.67	0.73	119.35	32.71
24年目	H 51	0.99798	0.99525	0.99737	0.2636	74.48	0.00	8.70	25.78	108.96	28.72	3.41	0.00	1.09	2.88	7.38	1.94	2.66	0.70	119.00	31.37
25年目	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2534	74.33	0.00	8.66	25.65	108.65	27.53	3.40	0.00	1.09	2.86	7.35	1.86	2.65	0.67	118.65	30.07
26年目	H 53	0.99706	0.99834	0.99734	0.2437	74.11	0.00	8.65	25.61	108.37	26.41	3.39	0.00	1.08	2.86	7.33	1.79	2.65	0.64	118.35	28.84
27年目	H 54	0.99705	0.99834	0.99734	0.2343	73.89	0.00	8.63	25.57	108.10	25.33	3.38	0.00	1.08	2.85	7.32	1.71	2.64	0.62	118.05	27.66
28年目	H 55	0.99704	0.99834	0.99733	0.2253	73.68	0.00	8.62	25.53	107.82	24.29	3.37	0.00	1.08	2.85	7.30	1.64	2.63	0.59	117.76	26.53
29年目	H 56	0.99703	0.99833	0.99732	0.2166	73.46	0.00	8.60	25.48	107.55	23.29	3.36	0.00	1.08	2.84	7.28	1.58	2.63	0.57	117.46	25.44
30年目	H 57	0.99702	0.99833	0.99732	0.2083	73.24	0.00	8.59	25.44	107.27	22.34	3.35	0.00	1.08	2.84	7.27	1.51	2.62	0.55	117.16	24.40
31年目	H 58	0.99701	0.99833	0.99731	0.2003	73.02	0.00	8.58	25.40	106.99	21.43	3.34	0.00	1.07	2.83	7.25	1.45	2.61	0.52	116.86	23.41
32年目	H 59	0.99700	0.99833	0.99730	0.1926	72.80	0.00	8.56	25.36	106.72	20.55	3.33	0.00	1.07	2.83	7.23	1.39	2.60	0.50	116.56	22.45
33年目	H 60	0.99700	0.99832	0.99729	0.1852	72.58	0.00	8.55	25.31	106.44	19.71	3.32	0.00	1.07	2.82	7.22	1.34	2.60	0.48	116.26	21.53
34年目	H 61	0.99699	0.99832	0.99729	0.1780	72.36	0.00	8.53	25.27	106.17	18.90	3.31	0.00	1.07	2.82	7.20	1.28	2.59	0.46	115.96	20.64
35年目	H 62	0.99698	0.99832	0.99728	0.1712	72.14	0.00	8.52	25.23	105.89	18.13	3.30	0.00	1.07	2.82	7.19	1.23	2.58	0.44	115.66	19.80
36年目	H 63	0.99697	0.99831	0.99727	0.1646	71.93	0.00	8.50	25.19	105.62	17.38	3.29	0.00	1.07	2.81	7.17	1.18	2.58	0.42	115.36	18.99
37年目	H 64	0.99696	0.99831	0.99726	0.1583	71.71	0.00	8.49	25.14	105.34	16.68	3.28	0.00	1.06	2.81	7.15	1.13	2.57	0.41	115.06	18.21
38年目	H 65	0.99695	0.99831	0.99726	0.1522	71.49	0.00	8.48	25.10	105.07	15.99	3.27	0.00	1.06	2.80	7.14	1.09	2.56	0.39	114.76	17.47
39年目	H 66	0.99694	0.99831	0.99725	0.1463	71.27	0.00	8.46	25.06	104.79	15.33	3.26	0.00	1.06	2.80	7.12	1.04	2.55	0.37	114.46	16.75
合計						2,976.06	0.00	359.83	1,065.69	4,401.57	1,546.89	136.24	0.00	45.09	118.92	300.24	105.88	107.13	37.60	4,808.95	1,690.37

## 便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:日高自動車道(一般国道235号)厚賀静内道路

年次	年度 (基準年) H17	総走行台数の年次別伸び率 (%)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 27	1.00693	0.99733	1.00455	0.6756	73.54	0.00	9.77	28.95	112.26	75.84	3.37	0.00	1.22	3.23	7.82	5.28	2.71	1.83	122.79	82.96
1年目	H 28	1.00689	0.99732	1.00453	0.6496	74.05	0.00	9.75	28.87	112.67	73.19	3.39	0.00	1.22	3.22	7.83	5.09	2.72	1.77	123.22	80.04
2年目	H 29	1.00684	0.99731	1.00451	0.6246	74.55	0.00	9.72	28.79	113.07	70.62	3.41	0.00	1.22	3.21	7.84	4.90	2.73	1.71	123.64	77.23
3年目	H 30	1.00679	0.99731	1.00449	0.6006	75.06	0.00	9.70	28.71	113.47	68.15	3.44	0.00	1.21	3.20	7.86	4.72	2.74	1.65	124.07	74.52
4年目	H 31	1.00675	0.99730	1.00447	0.5775	75.57	0.00	9.67	28.64	113.87	65.76	3.46	0.00	1.21	3.20	7.87	4.54	2.76	1.59	124.50	71.90
5年目	H 32	1.00670	0.99729	1.00445	0.5553	76.07	0.00	9.64	28.56	114.28	63.46	3.48	0.00	1.21	3.19	7.88	4.37	2.77	1.54	124.92	69.37
6年目	H 33	0.99969	0.99414	0.99837	0.5339	76.05	0.00	9.59	28.39	114.03	60.88	3.48	0.00	1.20	3.17	7.85	4.19	2.76	1.48	124.64	66.55
7年目	H 34	0.99969	0.99410	0.99837	0.5134	76.03	0.00	9.53	28.22	113.78	58.42	3.48	0.00	1.19	3.15	7.82	4.02	2.76	1.42	124.36	63.85
8年目	H 35	0.99969	0.99407	0.99837	0.4936	76.00	0.00	9.47	28.06	113.53	56.04	3.48	0.00	1.19	3.13	7.80	3.85	2.76	1.36	124.09	61.25
9年目	H 36	0.99969	0.99403	0.99837	0.4746	75.98	0.00	9.42	27.89	113.29	53.77	3.48	0.00	1.18	3.11	7.77	3.69	2.75	1.31	123.81	58.76
10年目	H 37	0.99969	0.99400	0.99836	0.4564	75.96	0.00	9.36	27.72	113.04	51.59	3.48	0.00	1.17	3.09	7.74	3.53	2.75	1.25	123.53	56.38
11年目	H 38	0.99969	0.99396	0.99836	0.4388	75.93	0.00	9.30	27.56	112.79	49.49	3.48	0.00	1.17	3.07	7.72	3.39	2.74	1.20	123.25	54.08
12年目	H 39	0.99969	0.99392	0.99836	0.4220	75.91	0.00	9.25	27.39	112.54	47.49	3.47	0.00	1.16	3.06	7.69	3.25	2.74	1.16	122.97	51.89
13年目	H 40	0.99969	0.99389	0.99835	0.4057	75.88	0.00	9.19	27.22	112.30	45.56	3.47	0.00	1.15	3.04	7.66	3.11	2.73	1.11	122.69	49.78
14年目	H 41	0.99969	0.99385	0.99835	0.3901	75.86	0.00	9.13	27.05	112.05	43.71	3.47	0.00	1.14	3.02	7.64	2.98	2.73	1.06	122.41	47.75
15年目	H 42	0.99969	0.99381	0.99835	0.3751	75.84	0.00	9.08	26.89	111.80	41.94	3.47	0.00	1.14	3.00	7.61	2.85	2.72	1.02	122.13	45.81
16年目	H 43	0.99801	0.99542	0.99743	0.3607	75.69	0.00	9.04	26.76	111.49	40.21	3.46	0.00	1.13	2.99	7.58	2.74	2.72	0.98	121.79	43.93
17年目	H 44	0.99801	0.99540	0.99742	0.3468	75.54	0.00	8.99	26.64	111.17	38.55	3.46	0.00	1.13	2.97	7.56	2.62	2.71	0.94	121.44	42.11
18年目	H 45	0.99801	0.99538	0.99741	0.3335	75.39	0.00	8.95	26.52	110.86	36.97	3.45	0.00	1.12	2.96	7.53	2.51	2.70	0.90	121.09	40.38
19年目	H 46	0.99800	0.99536	0.99741	0.3207	75.24	0.00	8.91	26.39	110.54	35.45	3.44	0.00	1.12	2.95	7.51	2.41	2.70	0.86	120.74	38.72
20年目	H 47	0.99800	0.99534	0.99740	0.3083	75.08	0.00	8.87	26.27	110.22	33.98	3.44	0.00	1.11	2.93	7.48	2.31	2.69	0.83	120.39	37.12
21年目	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2965	74.93	0.00	8.83	26.15	109.91	32.59	3.43	0.00	1.11	2.92	7.45	2.21	2.68	0.80	120.05	35.59
22年目	H 49	0.99799	0.99529	0.99738	0.2851	74.78	0.00	8.79	26.02	109.59	31.25	3.42	0.00	1.10	2.90	7.43	2.12	2.67	0.76	119.70	34.13
23年目	H 50	0.99799	0.99527	0.99738	0.2741	74.63	0.00	8.75	25.90	109.28	29.95	3.42	0.00	1.10	2.89	7.40	2.03	2.67	0.73	119.35	32.71
24年目	H 51	0.99798	0.99525	0.99737	0.2636	74.48	0.00	8.70	25.78	108.96	28.72	3.41	0.00	1.09	2.88	7.38	1.94	2.66	0.70	119.00	31.37
25年目	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2534	74.33	0.00	8.66	25.65	108.65	27.53	3.40	0.00	1.09	2.86	7.35	1.86	2.65	0.67	118.65	30.07
26年目	H 53	0.99706	0.99834	0.99734	0.2437	74.11	0.00	8.65	25.61	108.37	26.41	3.39	0.00	1.08	2.86	7.33	1.79	2.65	0.64	118.35	28.84
27年目	H 54	0.99705	0.99834	0.99734	0.2343	73.89	0.00	8.63	25.57	108.10	25.33	3.38	0.00	1.08	2.85	7.32	1.71	2.64	0.62	118.05	27.66
28年目	H 55	0.99704	0.99834	0.99733	0.2253	73.68	0.00	8.62	25.53	107.82	24.29	3.37	0.00	1.08	2.85	7.30	1.64	2.63	0.59	117.76	26.53
29年目	H 56	0.99703	0.99833	0.99732	0.2166	73.46	0.00	8.60	25.48	107.55	23.29	3.36	0.00	1.08	2.84	7.28	1.58	2.63	0.57	117.46	25.44
30年目	H 57	0.99702	0.99833	0.99732	0.2083	73.24	0.00	8.59	25.44	107.27	22.34	3.35	0.00	1.08	2.84	7.27	1.51	2.62	0.55	117.16	24.40
31年目	H 58	0.99701	0.99833	0.99731	0.2003	73.02	0.00	8.58	25.40	106.99	21.43	3.34	0.00	1.07	2.83	7.25	1.45	2.61	0.52	116.86	23.41
32年目	H 59	0.99700	0.99833	0.99730	0.1926	72.80	0.00	8.56	25.36	106.72	20.55	3.33	0.00	1.07	2.83	7.23	1.39	2.60	0.50	116.56	22.45
33年目	H 60	0.99700	0.99832	0.99729	0.1852	72.58	0.00	8.55	25.31	106.44	19.71	3.32	0.00	1.07	2.82	7.22	1.34	2.60	0.48	116.26	21.53
34年目	H 61	0.99699	0.99832	0.99729	0.1780	72.36	0.00	8.53	25.27	106.17	18.90	3.31	0.00	1.07	2.82	7.20	1.28	2.59	0.46	115.96	20.64
35年目	H 62	0.99698	0.99832	0.99728	0.1712	72.14	0.00	8.52	25.23	105.89	18.13	3.30	0.00	1.07	2.82	7.19	1.23	2.58	0.44	115.66	19.80
36年目	H 63	0.99697	0.99831	0.99727	0.1646	71.93	0.00	8.50	25.19	105.62	17.38	3.29	0.00	1.07	2.81	7.17	1.18	2.58	0.42	115.36	18.99
37年目	H 64	0.99696	0.99831	0.99726	0.1583	71.71	0.00	8.49	25.14	105.34	16.68	3.28	0.00	1.06	2.81	7.15	1.13	2.57	0.41	115.06	18.21
38年目	H 65	0.99695	0.99831	0.99726	0.1522	71.49	0.00	8.48	25.10	105.07	15.99	3.27	0.00	1.06	2.80	7.14	1.09	2.56	0.39	114.76	17.47
39年目	H 66	0.99694	0.99831	0.99725	0.1463	71.27	0.00	8.46	25.06	104.79	15.33	3.26	0.00	1.06	2.80	7.12	1.04	2.55	0.37	114.46	16.75
合計						2,976.06	0.00	359.83	1,065.69	4,401.57	1,546.89	136.24	0.00	45.09	118.92	300.24	105.88	107.13	37.60	4,808.95	1,690.37